

科目名	看護実践基盤学特別研究Ⅲ Research ProjectⅢ in Practice foundation Nursing			担当教員 (研究室番号)	未定		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目			選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4(60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
												遠隔授業	全部
科目 目的	看護学領域における基盤となる研究課題（健康の維持増進・疾病からの回復・症状マネジメント等を支援する看護実践方法の開発・エビデンスの追求、およびそれらの看護実践を実施できる看護職者の育成）について研究を実施し、修士論文を作成することにより、基礎的な研究能力を修得する。また、論文審査および最終試験の申請と合格を目指す。												
ディプロ マ・ボリ ン (DP)	主要なDP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。											
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育及び実践看護学に関する課題を追求していける研究能力を身につけている。											
到達 目標	1. 収集したデータを適切な方法で分析することができる。 2. 分析結果について丁寧かつ見やすい図や表により提示することができる。 3. 収集データや分析結果を客観的な視点から考察し、修士論文としてまとめることができる。 4. 論文発表会および修士論文審査・最終試験の準備をすることができる。 5. 論文発表会および審査最終試験での指摘事項について最終提出論文に反映することができる。												
成績評価方法 (基準)	修士論文（80％）、論文発表会での発表(20％)												
教科書	特に指定しない。												
参考書等	必要時に提示する。												
受講者への メッセージ													
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格を持って本科目の単位修得とする。												
学 習 内 容													
【到達目標1について】 ・収集したデータについて研究指導教員等の助言を受けながら研究目的に整合した適切な分析の仕方を学習する。													
【到達目標2について】 ・分析結果についてエクセルなどを用いて学術雑誌に掲載が可能なレベルの図や表の作成方法を学習する。													
【到達目標3について】 ・得られた結果を主観に捉えるだけでなく、多くの先行研究をもとに客観的な視点から捉える必要性とその言語的表現方法を学ぶ。 ・論文作成要領に則り論文を執筆する。繰り返し論文推敲を行う必要性について学び、明解かつ論理的で「はじめに」から「結論」までの論旨が一貫した修士論文とする。													
【到達目標4について】 ・発表会で報告するための資料（パワーポイント）の作成するときの注意事項について学ぶ。 ・発表会等で想定される質問とその回答について準備をする。													
【到達目標5について】 ・論文発表会や審査および最終試験で指摘された内容のうち、修正が可能な内容を最終提出論文に反映する。													
【各到達目標の共通事項】 ・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。													